



「わかる」「考える」「実践する」

令和5年5月1日発行 第2号

明桜中だより

発行 北区立明桜中学校長

五明 早苗

〒114-0002 北区王子 6-3-23

TEL 5959-0031

風薫る季節に……

～5月1日は開校記念日～

校長 五明 早苗

5月1日は明桜中学校の開校記念日です。本校は平成19年4月に豊島中学校、清至中学校、豊島北中学校が統合してできた学校です。



ここで、改めて明桜中学校の校名の由来を確認してみましょう。そして、開校当時の生徒、保護者、教職員、地域の方々の気持ちを想像してみてください。

明桜中学校 校名の由来

「明」…「生徒が明るく育っていくように、明るい未来への願いを込め」

「桜」…「北区の木であり、区のコミュニケーションマークにも採用されている『桜』を使うことで、やさしさと親しみを込め」

「新しい学校としての出発をイメージさせる校名」という思いを込めたもの。

かつて、中学校を舞台としたドラマ「3年B組金八先生シリーズ」の初期の脚本を書いていた小山内美江子さんが、『桜』の名のつく中学校は良い学校になりますよ。」と講演会でおっしゃっていました。桜の名を校名にもつ明桜中は小山内美江子さんのおっしゃった通りの良い学校になっていると思います。

5月20日（土）実施予定の体育祭に向けて、準備が始まっています。

運動が苦手な、または嫌いな人にとっては、週に3時間の体育にプラスして、体育祭練習が始まるというのは、辛いことかもしれません。それでも、コロナ禍の2020年に全校生徒にアンケートをとった結果では、体育祭だけでも実施してほしいという意見が8割を占めました。そこで明桜中では、当時5月に予定していた体育祭を10月に延期し、プログラムも大幅に変更して体育祭を実施しました。

なぜ、当時の明桜中生は体育祭にこだわったのでしょうか。

理由はさまざまありましたが、「勝つ」という目標に向かってクラスが団結して、「一体感を味わえること」が一番の理由だったようです。

自分が競技に出場して頑張るだけではなく、出場している仲間をみんなと一緒に応援して、選手と観客と一体感を得た結果、勝てば嬉しいし、負ければ悔しい。その思いと一緒に共有出来る経験を体育祭の醍醐味（本当の面白さ）として、体育祭実施にこだわったのだと思います。

これは、昨年行われたサッカーワールドカップや今年行われたWBCで、特に親しい人とはなくても一緒に応援することで、共に泣いたり笑ったりして、同じ思いを共有できたことに似ています。WBCではテレビの向こうの選手に対してでしたが、体育祭では目の前にいる同じクラスの仲間が対象ですから応援に、熱が入るのは当然でしょう。クラスが同じ目的に向かって努力して、練習して、励まして、参加して、応援する。このプロセスがあるからこそ、当日勝っても負けても、充実感を味わうことができるのだと思います。

今年度のスローガン、勝敗笑美戦（かっぱえびせん）にもそんな思いを読み取ることができます。

5月の主な予定

- 1日（月）朝礼
開校記念日
- 2日（火）生徒総会
- 3日（水）憲法記念日
- 4日（木）みどりの日
- 5日（金）こどもの日
- 8日（月）朝礼
教育実習（始）
- 10日（水）腎臓検診（尿検査）
- 11日（木）腎臓検査（尿検査）
- 13日（土）土曜授業（授業参観は2校時まで）
- 15日（月）朝礼
都学力調査（3年）
- 16日（火）話すこと調査（3年）
- 17日（水）体育祭予行
- 20日（土）第17回体育祭（給食あり）
- 22日（月）体育祭振替休業日
- 23日（火）体育祭予備日
- 24日（水）各種委員会
- 25日（木）歯科検診
- 26日（金）腎臓検診二次（尿検査）
教育実習（終）
- 29日（月）朝礼
- 31日（水）部活動保護者会 15:00～
都学力調査（2年）

*5月には3日～7日まで、5連休があります。各学年とも連休中の宿題が出されているようです。
休日は有効に活用してください。



健康管理にご留意を

*校内一斉の衣替えはありません。半袖、長袖、上着については、個人の判断でお願いします。
*マスクの着用も同じですが、熱中症にならないように十分に気をつけてください。

